

# 目次

まえがき	1
【俳句】	
小学1年生・2年生	2
小学3年生・4年生	5
小学5年生・6年生	11
中学生	20
【川柳】	
小学1年生・2年生	29
小学3年生・4年生	33
小学5年生・6年生	35
中学生	39
【短歌】	
小学1年生・2年生	42
小学3年生・4年生	43
小学5年生・6年生	44
中学生	48
【詩】	
小学1年生・2年生	57
小学3年生・4年生	59
小学5年生・6年生	63
中学生	67

## ○応募者数・応募作品数

	小学1・2年生		小学3・4年生		小学5・6年生		中学生		合計	
	人数	作品数	人数	作品数	人数	作品数	人数	作品数	人数	作品数
俳句	283人	473点	571人	1,058点	741人	1,267点	893人	1,594点	2,488人	4,392点
川柳	420人	712点	208人	363点	275人	437点	126人	209点	1,029人	1,721点
短歌	14人	23点	42人	62点	325人	529点	609人	850点	990人	1,464点
詩	26人	30点	122人	129点	100人	107点	34人	44点	282人	310点
合計	743人	1,238点	943人	1,612点	1,441人	2,340点	1,662人	2,697点	4,789人	7,887点

## ○入賞点数

	小学1・2年生		小学3・4年生		小学5・6年生		中学生		合計			
	特選	準特選	佳作	入選	特選	準特選	佳作	入選	特選	準特選	佳作	入選
俳句	特選	2点	特選	3点	特選	4点	特選	4点	特選	13点		
	準特選	4点	準特選	9点	準特選	11点	準特選	13点	準特選	37点		
	佳作	8点	佳作	18点	佳作	20点	佳作	23点	佳作	69点		
	入選	12点	入選	27点	入選	30点	入選	33点	入選	102点		
	計	26点	計	57点	計	65点	計	73点	計	221点		
川柳	特選	2点	特選	1点	特選	2点	特選	1点	特選	6点		
	準特選	6点	準特選	3点	準特選	4点	準特選	2点	準特選	15点		
	佳作	13点	佳作	7点	佳作	8点	佳作	4点	佳作	32点		
	入選	20点	入選	9点	入選	12点	入選	6点	入選	47点		
	計	41点	計	20点	計	26点	計	13点	計	100点		
短歌	特選	1点	特選	1点	特選	2点	特選	3点	特選	7点		
	準特選	1点	準特選	1点	準特選	4点	準特選	8点	準特選	14点		
	佳作	1点	佳作	2点	佳作	10点	佳作	16点	佳作	29点		
	入選	1点	入選	2点	入選	15点	入選	24点	入選	42点		
	計	4点	計	6点	計	31点	計	51点	計	92点		
詩	特選	1点	特選	1点	特選	1点	特選	1点	特選	4点		
	準特選	1点	準特選	1点	準特選	1点	準特選	1点	準特選	4点		
	佳作	1点	佳作	3点	佳作	3点	佳作	1点	佳作	8点		
	入選	1点	入選	4点	入選	4点	入選	1点	入選	10点		
	計	4点	計	9点	計	9点	計	4点	計	26点		
合計	特選	6点	特選	6点	特選	9点	特選	9点	特選	30点		
	準特選	12点	準特選	14点	準特選	20点	準特選	24点	準特選	70点		
	佳作	23点	佳作	30点	佳作	41点	佳作	44点	佳作	138点		
	入選	34点	入選	42点	入選	61点	入選	64点	入選	201点		
	計	75点	計	92点	計	131点	計	141点	計	439点		

# まえがき

彦根市教育委員会 教育長 善住 喜太郎

彦根市および彦根市教育委員会では、子どもたちが文化芸術活動を通して自己表現できる機会を提供するとともに、日ごろから文化芸術活動に熱心に取り組む子どもたちの努力と榮譽を称えることにより、将来の文化芸術活動を担う次世代の人材を育成することを目的とした『ひこね子ども文化芸術奨励事業』を、平成二十二年度から実施しております。

その事業の一つとして、日本語の持つ言葉本来の美しさを感じることで、子どもたちの豊かな表現力（考える力・書く力・伝える力）を育むことを目的とした「第七回 ひこね子ども文芸作品」を実施し、俳句、川柳、短歌、詩の作品を募集いたしました。

今年度は、延べ4,789人の子どもたちから、7,887点もの作品が寄せられました。毎年、多数の作品のご応募があります。ことは、子どもたちの文芸の創作活動が、彦根市に定着しているというこの表れであり、大変うれしく思っております。

皆さんの作品を拝見しておりますと、子どもならではの物事の見方や考え方が、素直な心で表現された子どもらしい作品がある一方で、大人顔負けの語彙力や表現力が見られる作品もあり、年々、作品の創作レベルが上がっているように感じております。

文芸は、皆さんが学校で学んでいる算数や数学とは違い、決まった答えというものはありません。皆さんの中には、すぐにフレーズや表現が思いつき、作品が完成した人もおられたかもしれませんが、そう簡単に作れるものではありません。そのため、皆さんの中には、なかなか思うような作品が作れず、あきらめてしまいたくなった人もおられたことでしょうか。

このような、行き詰まったり、悩んだりした時に、すぐに投げ出してしまうのではなく、ここぞとばかりに粘り強く考え、もうひと踏ん張りすることが、自分自身を成長させる貴重な経験となっていくきます。これから皆さんは大人になるにつれて、自分自身で物事を考え、決断する機会が自ずと多くなっていきます。文芸と同じように、決められた答えはなく、自分自身で考え、答えを見つけなければいけません。そのような時に、一生懸命自分で考え、作品を創作したこの経験が生きてくるはずですよ。

今回の「ひこね子ども文芸作品」の創作活動を通じて、皆さんには、国語の表現力が育まれたことはもちろん、簡単にあきらめない忍耐力と、自己解決する能力も養われたに違いありません。今後は、それらの能力をさらに高めていっていただきたいと思えます。

最後になりましたが、彦根文芸協会の皆様には作品の審査をはじめ、夏休みには「夏休み文芸ワークショップ」の講師をお引き受けただくなど、彦根市における新たな文芸活動の人材育成のために多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

これからも、明日の彦根を担う子どもたちの健やかな成長を、温かな目で見守っていただきますよう、関係各位の皆様にお申し込みし、発刊に寄せる言葉とさせていただきます。

平成二十九年 三月